



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

マイナ保険証

最近の新聞記事から

「マイナ保険証が原則に 重複投薬を抑制、紙の保険証も暫定利用可」

(日本経済新聞 2025 年 11 月 30 日 朝刊 6 面)

「マイナ保険証『完全移行』 従来保険証 3 月まで特例」(読売新聞 2025 年 12 月 2 日 夕刊 1 面)

マイナ保険証とは、健康保険証として利用登録されたマイナンバーカードのことです。マイナンバー制度は、社会保障や税に関する情報をまとめるために平成 27 年に導入され、翌年からカードの交付・利用が始まりました。令和 5 年のマイナンバー法（通称）の改正により、健康保険証とマイナンバーカードの一体化が決定され、令和 6 年 12 月 2 日以降は従来の健康保険証の発行が停止されました。一年後の令和 7 年 12 月 2 日以降、従来の健康保険証は原則として使用できなくなりました。

マイナ保険証を活用することで、データに基づいた医療を受けやすくなることや、「限度額適用認定証」なしで高額療養費制度を利用できることなどのメリットがあります。一方、更新の手間や窓口でのトラブルについては、懸念の声も出ています。国や自治体が発信する情報はもちろん、さまざまな視点からメリット・デメリットを確認し、自身や家族にとって最適な選択を考えることが大切です。

今回は、マイナ保険証制度の基礎知識と懸念点、アンケート調査の結果がわかる資料をご紹介します。

【基礎知識】

サイト名・記事名・書名	URL・出版情報等
マイナンバーカードの健康保険証利用 (マイナ保険証) について	厚生労働省 Web 情報 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html
マイナ保険証の利用について、 クイックガイド (PDF) や 紹介動画 (YouTube)、 よくある質問 などを掲載している。また、マイナ保険証を使わない方に交付される 資格確認書について の説明も掲載している。	
マイナンバー法等の一部改正法 (令和 5 年法律第 48 号) について	厚生労働省 Web 情報 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001114698.pdf
第 165 回社会保障審議会医療保険部会の資料。 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（マイナンバー法）の改正箇所や決議の流れをまとめ、マイナ保険証導入の法的根拠を示している。	
社会保険のてびき 令和 7 年度版	社会保険研究所 2025 図書 中央：3643/15/25
健康保険と厚生年金保険を中心に、しくみや給付の種類などを解説する。 「マイナ保険証」に関する項は p36-39 にあり、マイナ保険証を用いたオンライン資格確認の操作手順や、マイナ保険証のメリットについて記載されている。	

<p>疑問も不安も解消！医療機関や薬局でマイナンバーカードを健康保険証として使おう</p>	<div>『厚生労働』</div> <div>(2024 年 4 月号 2024) p8-19 中央</div> <div> https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_u_shuppan/magazine/202404_001.html </div> <div>Web 情報</div> <div>雑誌</div>
<p>厚生労働省が編集協力している。イラストや図を多用してマイナ保険証のメリットを説明するほか、Q&A 形式で疑問・不安に答えている。</p> <p>厚生労働省の Web マガジン「厚生労働」でも同じ内容が公開されている。</p>	

【懸念点】

<p>医療 DX が社会保障を変える</p> <p>マイナンバー制度を基盤とする情報連携と人権</p>	<div>稲葉一将著 自治体研究社 2023</div> <div>西部：4981/316</div> <div>図書</div>
<p>マイナ保険証やオンライン資格確認の導入によって起こるメリット・デメリットについて論じている。特に、マイナ保険証を利用していない人が医療を受けづらくなることや、利用上のトラブルが起こっている中でマイナ保険証を強行する政府の姿勢に対し、懸念を示している。</p>	
<p>健康保険証廃止の中止を</p>	<div>『人権と部落問題』</div> <div>(2024 年 12 月号 2024) p6-35 中央</div> <div>雑誌</div>
<p>マイナ保険証への原則一本化によって健康保険証が廃止されることに対し、健康権保障の観点や、マイナ保険証に含まれる健康情報に関するプライバシー保護の観点から懸念点を挙げている。</p> <p>また、マイナンバーカードや電子証明書の代理更新に本人の照会書兼回答書が必要であり、難病や障害を持つ人の更新が難しいことなど、支援を必要とする人々を置き去りにした運用になるのではないかという心配の声が掲載されている。</p>	

【アンケート調査の結果】

<p>マイナ保険証の利用促進等について</p>	<div>厚生労働省</div> <div> https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/001579695.pdf </div> <div>Web 情報</div>
<p>第 200 回社会保障審議会医療保険部会の資料。</p> <p>令和 7 年 9 月に行われた国民向けアンケートや、同年 10 月に行われた医療機関向けアンケートの結果をまとめている。顔認証付きカードリーダーの目視モードについても、利用状況や利用方法が紹介されている。</p> <p>その他、参考資料として、マイナ保険証に関するさまざまな統計を掲載している。</p>	
<p>保険証の新規発行停止後の医療機関の状況調査</p>	<div>千葉県保険医協会</div> <div> https://hodianren.doc-net.or.jp/wp-content/uploads/2019/09/54ccc8a28c2cb1666f15fe44b45db1ac.pdf </div> <div>Web 情報</div>
<p>千葉県内に開業、勤務、在住する医師・歯科保険医が任意加入する「千葉県保険医協会」が、令和 7 年 8 月～9 月に会員向けに実施したアンケート調査の結果。窓口で実際に起きているトラブルや、資格確認ができなかった際の対応について詳細に調査している。</p>	

(インターネットの最終確認日：2025 年 12 月 25 日)

作成：千葉県立中央図書館